

緑 化 通 信

2021
4月25日
(年7回25日発行)
第485号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL: <https://www.ueki.or.jp/>
E-mail: honbu@ueki.or.jp

購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



環境省主催 第15回「みどり香るまちづくり」 企画コンテスト表彰式

2月19日(金)に環境省第一会議室にて第15回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト表彰式が開催された。

この企画コンテストは、香り樹木や草花を使用したみどり香るまちづくりの優良な香る環境を創出する企画を支援する目的で環境省が主催し、(公社)日本アロマ環境協会、(公社)日本植木協会が共催して開催されている。

表彰式には、環境大臣賞1点、におい・かおり環境協会賞1点、日本アロマ環境協会賞1点、日本植木協会賞1点のほか入賞3点・15周年記念「みどり香るまち」大賞1点の8団体が表彰された。

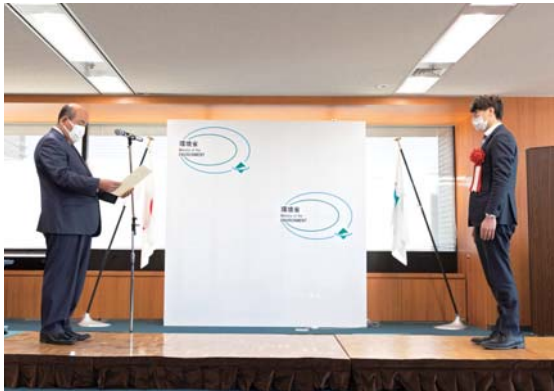
環境大臣賞には、練馬区

環境部みどりの推進課が企画した「四季の香りローズガーデン」に、二口文彦事務局長が出席した。

表彰式は、堀内詔子環境副大臣より、開会の挨拶がされた後、プレゼンター及び選考委員の方々が紹介され、表彰式に移った。

表彰式では、環境大臣賞1点、におい・かおり環境協会賞1点、日本アロマ環境協会賞1点、日本植木協会賞1点のほか入賞3点・15周年記念「みどり香るまち」大賞1点の8団体が表彰された。

環境大臣賞には、練馬区



「早良病院園芸療法ガーデンチーム」の丹波市教育委員会の菊川様に賞状を贈る穴倉会長



「早良病院園芸療法ガーデンチーム」の丹波市教育委員会の菊川様と穴倉会長の記念写真



表彰式集合写真

表彰後、受賞者による企画・取組みの発表が行われ、藤田八輝選考委員長から授賞理由・講評が行われた。なお、受賞5団体(入賞除く)には日本アロマ環境協会、日本植木協会より、副賞の樹木が贈られる。

受賞者発表終了後に、みどり香るまちづくりの実現のためにをテーマにシンポジウムが開催された。

このシンポジウムをもってイベントのすべてが滞りなく終了した。

みどり香るまちづくり企画コンテスト 日本植木協会賞受賞者の声

【みんなツナガル癒しのさわら花笑みガーデン】 早良病院園芸療法ガーデンチーム コロナに負けない笑顔あふれるみどり香る空間を目指して

丹波市教育委員会 教育普及専門員/日本園芸療法学会認定 上級園芸療法士 菊川 裕幸

本企画の主体である早良病院では、これまでに「患者さんや地域の方々の癒しの場」を作りたいという思いから、病院前の緑地帯を花壇にする取り組みを行ってきました。この活動をさらに深化させ、患者さんだけでなく、地域の様々な方(子ども、大人、高齢者)が「みどり」と「香り」でツナガル庭を作り、多世代交流による地域活性化を担っていくべく、病院関係者や園芸療法士を加えたチームを結成し、本企画を立案し、第15回みどり香るまちづくりコンテストに応募し、「日本植木協会賞」を頂くことができました。



企画概要を環境性、持続性、創造性、公共性の4つの観点からご紹介いたします。まず環境性では、植栽地周辺には、高齢者施設や保育園、幼稚園等の施設があり、周辺はマンションや住宅街が立ち並んでいます。このような幅広い対象の方が誰でもみどりと香りのある環境に触れられるように、ユニバーサルデザインを取り入れたデザインとしました。さらに、植栽する樹木は、樹木生産地の福岡県久留米地域と連携し、地域の樹木を数多く取り入れる設計としました。

次に持続性では、早良病院が「花を育てるボランティア」を募集していること、福岡市緑のまちづくり協会や福岡市社会福祉協議会とも連携を図ることで、多様な地域住民が庭の維持管理に関わる体制を構築しています。現在、近隣大学や農業高校との連携も視野に入れ、持続的な活動になるように調整を行っています。このように

様々な人々が関わり続けることで、維持管理だけでなく、庭のブラッシュアップも図っていきます。

次に創造性という視点においては、本企画は未就園児、児童・生徒、学生、高齢者、障がい者、病院利用者誰もが利用できるような庭の設計がなされています。これによって、子どもが高齢者と関わったり、親子連れが利用できたり、障がいのある方のリハビリに使用できたりと、多世代間交流と機能訓練、健康維持等ができる HEALTHY PARKS HEALTHY PEOPLE の概念を取り入れています。

最後に公共性では植栽地周辺は様々な施設や住宅地が数多くあり、人々の往来も多く1日あたり約500人~1000人が庭を目にすることになります。さらに、本企画では地域住民対象の園芸講習会や保育園・幼稚園児の教育の場として連携も企画しており、地域の教育資源的な活用も可能です。そして対象を選ばないデザインによって、誰もがいつでも庭を利用し香りを楽しむことができるようになっており、公共性は非常に高いといえます。

この度の受賞で、香りの樹木や草花を数多く日本植木協会様よりご提供いただき、2021年3月14日に植樹会を実施することができました。植樹会は好天に恵まれ、約50名のボランティアや病院関係者が参加しました。完成した庭を見た方々からは「とてもきれいな庭ができた」「この道を通ることが楽しみにになった」などの感想を頂くことができました。

コロナ禍においても誰もが緑と香りで癒される空間となるように、さらに本企画をレベルアップしていきたいと考えています。



コンテナ部会

初の書面総会

各議案は過半数の賛成で承認

令和3年度コンテナ部会 第4号議案「令和3年度収支計画案」が賛成69といずれも過半数の賛成で承認されました。

書面決議に合わせたアンケートでは、リモート会議の活用で部会予算の削減を図ること、オンラインセミナーの推進、費用対効果を見定めた外部団体加入見直し等の指摘があり、文書にて回答させていただきました。

第1号議案「令和2年度事業報告」が賛成70、第2号議案「令和2年度決算報告及び監査報告」が賛成70、第3号議案「令和3年度事業計画案」が賛成70、

リモート記念講演会を開催

「低コスト再造林におけるコンテナ苗の役割」

講演者 (一社)日本森林技術協会 中村 松三氏



中村松三氏

コンテナ部会は慣例として通常総会後に記念講演会を実施していますが、今年度は2月17日に一般社団法人日本森林技術協会 九州

新樹種部会 書面総会

今年度の新樹種部会通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等のため、書面による総会開催となりました。

部会員から提出された書面総会の結果については、2月3日に行われた役員会において、事務局より結果報告を受けた後、役員で書面決議報告を確認し、第1

号議案、第2号議案ともに全員承認での議案可決を出席役員で確認しました。

また、意見・要望を出されていた新樹種ガイドブックについては、著作権等の問題もあり、役員会で検討していくこととなったほか、次期総会開催地についても、関東での開催を予定するとのことになりました。

事業所主任研究員の中村松三氏を講師にお招きし、「低コスト再造林におけるコンテナ苗の役割」と題したリモート記念講演会を開催しました。

中村氏はまず、戦後の林業政策に触れ、国の拡大造林施策により人工林は33億㎡まで増加し、かつ過半数が10歳以上の伐採・利用可能樹齢に達していると話されました。その一方で環境重視の高まりや林業の担い手減少から近年の植林面積はかつての1/10程度に落ち込んでおり、このままでは50年後の林業の持続可能性が懸念されると述べました。そのためにも伐採した後の再造林が重要であると説かれました。

再造林面積の目標は年間6・9万haであるのに対して、現状は年間3・0万haの造林面積にとどまっています。再造林を促進するためにはコスト削減が必要不可欠であり、中村氏はマルチキャビティコンテナ苗(以下コンテナ苗)の栽培技術開発および伐採・地寄せ・植栽の一貫作業システムの開発が重要であると力説されました。

一貫作業システムは機械で伐採・搬出と地寄せを並行して行い、地寄せ後直ぐにコンテナ苗を植栽する方法で、年間を通じて作業が可能であることや機械による省力化で低コストを実現できるとされています。試算によると一貫作業システムの労働投入量は人力の2/3割で済むことから導入

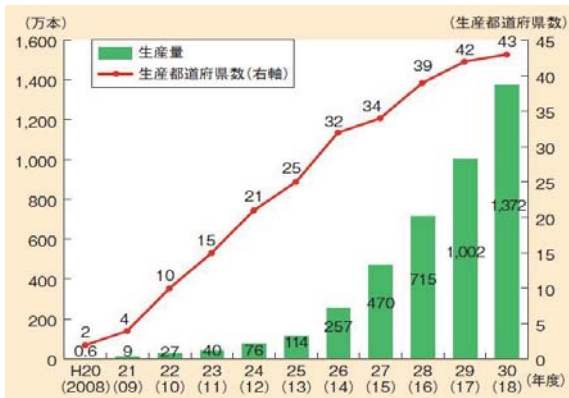
すべき有効なシステムと考えられます。

コンテナ苗は近年普及が加速する中、平成30年1、372万本が生産され、山林苗生産の23%を占めています。再造林の低コスト化にはコンテナ苗の栽培効率化と安定供給が必要であり、行政側からの支援や苗木需要量の事前通知による安心栽培によってコンテナ

苗生産のインセンティブを高める必要があります。また、林野庁は令和4年度にもコンテナ苗の品質評価方法開発と規格標準化を進めることや、技術マニュアルの制作を進める方向と話されました。

中村氏の講演後は、活発な質問タイムとなり、山林種苗生産の関心の高さうかがわれました。

再造林作業の流れ



コンテナ苗生産量の推移 林野庁森林整備課調べ

※ H30年度 全山行き苗生産量は 約6,000万本
コンテナ苗 1,372万本の割合は 約23%

日本列島植木植物園 ナショナルプランツ コレクション※

園小泉 克好 小泉園 (神奈川県) ☎0467-46-3007

玉縄桜

玉縄桜は神奈川県立フラワーセンター大船植物園でソメイヨシノの実生選抜から1969年に発見され、1990年に「玉縄桜」の名前で品種登録された桜です。ソメイヨシノより早咲きで、花色もやや濃いピンク色です。例年気温が低い2月中旬ごろから開花するので、長く楽しめる特徴があります。

今年は桜の開花が全般的に早かったので2月19日には満開とは言えませんがかなり開花が進んだ状態で、3月13日くらいまで約1ヶ月もの長い期間観賞できました。ちなみにソメイヨシノは3月18日ごろから4月1日くらいの2週間程度でしたので、2倍以上長く楽しめたこととなります。

花の特徴は、蕾ははっきりしたピンク色で、開花するとごく薄いピンク色になり、開花が進み散り際にはやや濃いピンク色になります。雄しべも同じように色が変化し、散り際には赤に近いような濃い色になるので、ピンクと赤の2色のコントラストが楽しめます。

玉縄桜は、旧鎌倉郡玉縄村から名づけられました。玉縄村(玉縄市域城廻)には1513年に北条早雲が築いたとされる玉縄城がありましたが、1963年に清泉女学院中学高等学校が城跡に移転してきました。



玉縄城跡



※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

散布と注入でクビアカツヤカミキリを駆除

さくらを守ろう

散布方法 成虫発生時期に樹木全体(特に主幹部)に十分量の薬液を散布する(希釈倍数:200倍)。

注入方法 フラスコを見つけたら食入孔の木屑を除去し、薬液が逆流するまで注入する(希釈倍数:50倍)。

殺虫剤 普通物

マツグリーン[®]液剤2

フラスコを見つけたら即注入!!



株式会社ニッソーグリーン

〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2

TEL.03-5816-4351

www.ns-green.com

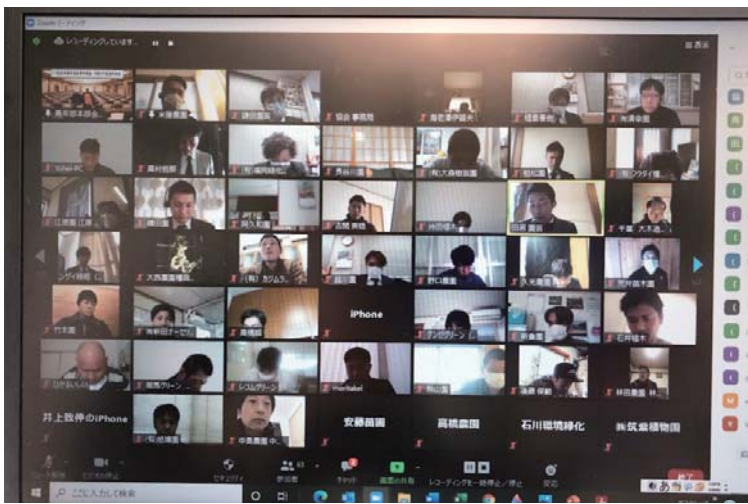
青年部会 令和3年度通常総会 リモートで開催

青年部会・令和3年度通常総会は、初の試みとしてリモートによる青年部会通常総会を2月9日(火)13時より開催しました。

定刻通り、青年部会・幹事総務委員長の植島春樹氏の司会で進行された。総会参加者59名、委任状参加38名で総会成立の定足数に達したことが報告され、浅井洋平副部会長の開会宣言に続いて、福島啓輔部会長の挨拶があった。

来賓挨拶では、担当理事である辰巳広之氏、大倉孝行会長のご祝辞の後、協会顧問である有村治子氏（参議院議員）からは、協会の先頭をきいて、全国リモート総会をすることが素晴らしい。今回、失敗があった

来賓挨拶では、担当理事である辰巳広之氏、大倉孝行会長のご祝辞の後、協会顧問である有村治子氏（参議院議員）からは、協会の先頭をきいて、全国リモート総会をすることが素晴らしい。今回、失敗があった



リモート総会の画面



司会の小川達也さん

第三号議案 令和3年度事業計画案、第四号議案 令和3年度年度事業予算案について
福島部会長、越川事業委員長、高村幹事より報告が行われた。令和3年度予算案は事務局より報告され、審議の後、議長が第三号議案、四号議案の一括採決を行い賛成多数で承認された。

第一号議案 令和2年度事業報告、第二号議案 令和2年度決算・監査報告について
令和2年度事業報告は福島部会長、浅井副部会長、越川事業委員長、田宮幹事から報告があり、各ブロック長から各ブロックの研修会報告があった。令和2年度決算は事務局より報告があり、監事の荒井秀史氏より監査報告があり、諸帳簿、証拠書類等が適正に処理されている報告があった。

議長が審議の後、一号、二号議案の一括採決を行い賛成多数で承認された。



協会内でのリモート総会の様子

リモートによる記念講演 「避けては通れない 森林再生の時代へ」

東京農業大学名誉教授

中村 幸人 先生



中村幸人先生

総会後に行われた記念講演では、東京農業大学名誉教授の中村 幸人氏をお招きし、「避けては通れない森林再生の時代へ」というテーマでご講演頂きました。中村先生はオンラインにてのご講演は、大学の授業などで慣れおられ、スムーズにご講演して頂いた



質問された方：左から田宮慎二さん、井上致伸さん、佐藤萌恵さん、高村哲郎さん

ご講演内容に関しまして、私たちに非常に関係ある森林再生のご講演で、これから森林保全・再生、そして政府のグリーン成長戦略などのお話の後に、このコロナ禍での環境を優先した社会構造の変革が望まれていると、これからの話もして頂き、非常に勉強になりました。

また、会員さん達からも様々な質問も出て、解りやすく教えていただきました。今回、初めてのオンライン総会で、まだまだ足りない所や、改善すべき点が多々あったと感じ、ご迷惑もかけた部分もあったと思います。これから、また色々な意見を参考にして改善していきたいと思えます。

来年度の総会はずいぶん皆さん達と対面にて開催される事を願っています。

青年部会長 福島啓輔
(有)福岡緑化情報センター

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

④ミズバショウ

小岩井農牧(株) (岩手県)
たろ さわ ただし
足 澤 匡



雪解けの水辺に咲き乱れる「ミズバショウ *Lysichiton camtschatcensis*」。夏のイメージがある花ですが、実は早春に花を咲かせます。きつと、小学校の音楽の時間に習った…♪夏が来れば、思い出す～「夏の思い出（作詞：江間章子、作曲：中田喜直）」。尾瀬の湿原にミズバショウが咲いている情景を歌っていますが、里では夏であっても高層湿原の尾瀬では、まだ春なのです。このスケッチは、岩手県岩泉町にある櫃取（ひつとり）湿原で描きましたが、2007年5月20日でした。周辺



岩手県岩泉町櫃取湿原にて（2007年5月20日）

にはまだ雪が残っていて、雪が解けだしたところから、ゆっくりと春が始まる様子を観察することができました。

白く見える部分は花弁ではなく、苞（仏炎苞：ぶつえんほう）で、中にある円筒形の部分が小さな花が集まった肉穂花序（にくすいかじょ）と呼びます。オランダカイウ（カラー）やスパンフィラムなども同じ形態で、サトイモ科に属します。また、葉は、花が咲いている時には遠慮がちですが、その後大きく広げ、1m以上にもなります。葉が、バナナの仲間のバショウ（芭蕉）に似て、水辺に生えることが「ミズバショウ（水芭蕉）」の由来なのです。大きな葉がひげになったミズバショウの群生は、とても特異な景観を作りますよ。バナナの生える熱帯のような・・・そんなことはありませんが。

ちなみに、ミズバショウは毒草です。冬眠から覚めた熊が初めに食べますが、冬眠中に溜まった老廃物を排出するために食べるそうです。「毒」は薄めたり、適量を守ると「薬」になります。なぜ、熊はそんなことを知っているのでしょうか？ 処方箋は誰にもらっているのでしょうか？ 自然って、本当に不思議ですよね。だから、楽しいです。

植木のお供に
アスコットの樹名札

・低価格でご要望(色・デザイン等)に応えます！
・用途、環境に応じた多様なサイズ展開！
・耐候性に優れた高級素材を使用！

ABS ベース	MN-21 (大型) / 210×150×10 MN-17 (中型) / 175×120×10 MN-15 (小型) / 150×100×10
AES ベース	MN-S (Sモデル) / 120×80×2
アクリル板	new! MN-R (円型) / Φ160×2

株式会社アスコット
TEL.045-222-0215

〒231-0027 横浜市中区扇町 2-4-5-201
メール / jumeifuda@ascot-f.co.jp
www.ascot-f.co.jp/

QRコード

～緑化木・種苗生産用資材 総合取扱い～

【取扱い品目】
根巻用麻ロープ・麻布・麻テープ、ポット類
支柱各種、防風網・寒冷紗・ネット類各種、
スリングベルト、モッコ、葉刈袋、その他

谷口産業株式会社

TEL : 072-432-1828 FAX : 072-432-1838 http://www.ts37.co.jp

シリーズ 社園さん紹介 No.5

ルポ

八街植木 (千葉県八街市)

昭和33年、落花生の生産で有名な千葉県八街市に、1本の木を植えたことから植木屋を始めた鵜沢三蔵さん。根っこをいじるのが趣味と言うほど、丈夫な根っこ作りにこだわっている現在代表の2代目栄さん。3代目となる邦充さんはお洒落な植木屋さん。そんな家族を支えている栄さんの奥様の真知子さんにもお話を伺いました。温かい「八街植木」さんをご紹介します。



初代代表の鵜沢三蔵さん

いつから植木屋さんを始めたのですか？

三蔵さん：「私が昭和33年に八街に来た時は、ここは落花生の生産ばかりで、植木の『う』の字もなかったです。鵜沢家は、もともとスイカなど作っていた農家だったので、その土地に木を植え続けて10年でなんとか基盤を作りました。東京オリンピックの頃から街路樹が急激に増え、緑化産業が盛んになりました。徐々に植木屋も増えて八街植木組合を作り、名乗りを上げていったのです。昭和45年から63年頃は、ゴルフ場建設がピークで、企業がどんな木でもあるだけ買うつと、手を挙げていました。これが緑化産業の最高潮でした。」

三蔵さんは、八街地区に植木を広めた先駆者ですね。最初は畑に何を植えたのですか？

三蔵さん：「最初に植えたのは、カイヅカイブキです。これは海風や塩害にも強く、割りと作りやすいということで、兵庫県宝塚市から苗木を買ってきました。また街路樹の高木の下に植えるサツキやオオムラツツジ、垣根用としてツゲも植えました。また、八街でキャラの木は、私が最初に作り始めました。八街は寒いからマキは枯れてしまうので、落葉樹のケヤキ、サクラ、モミジなど高木を主体としました。それらが緑化産業全盛期には街路樹として、また、サクラ等は忙しくて根巻なしでもよく売れました。掘り取り機で、1日200本とか採っていた時もありましたね」と、懐かしそうに話してくれました。

協会にはいつ頃に入られたのですか？

三蔵さん：「たしか昭和51年に入会して、支部長を2期して、平成2年から5年まで常務理事をしました。その頃、バブルが弾けて「さあ、これからどうしよう」と考えていた時だったので、ポットが普及しているヨーロッパの植栽を勉強しようと協会の海外視察に13回参加しました。オランダ、ドイツ、ギリシャ、オーストリア、中国、カナダ…などに行きました。」

代表が栄さんに代替わりしたのはいつ頃ですか？

栄さん：「ちょうど2000(平成12)年にキリがいいと、代をバトンタッチしました。子どもの時から親に、『この商売は、企業の社長になって椅子に座っていたら続かない商売。でも決して無くなることはない商売』と教わりました。不景気でもお金を持っている人は立派な庭を作りますから」と、にこやかに話されていました。



色々な種類が生産されています。



色々な種類が生産されています。



北アフリカのアトラス山脈を原産地とするアトラスシーダの園芸品種



栄さんの趣味発見!! オーディオ専用部屋で大型スピーカーでの洋楽観賞

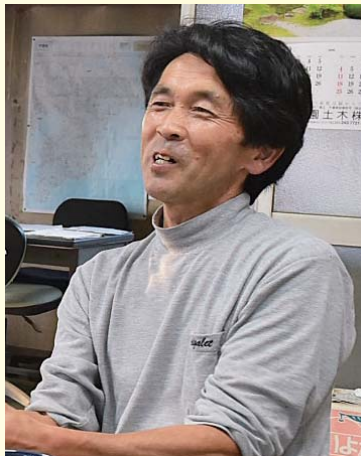


圃場には千葉県植木名木100選に選ばれたカヤもあります。

八街市は、寒いと聞きましたが、千葉県内でもそんなに気温差があるのですか？

栄さん：「全く違う。氷点下10度位まで下がることもあってとにかく寒い。周りと比べて標高が60mは高いです。以前、長野県に納品するために、八街の木が長野の気候に耐えられるかと県の試験場の方が調査しに来られ、結果許可が出たのですが、寒さに驚いていました。でも、南関東なので適度な寒さと温かさもあるので日本全国で、本来産地で作っている木々をここ八街一カ所で育てられる。だから全国どこの地域に持って行っても八街の植木は売れるんです。」

その標高のため空っ風が吹いてほこりもすくい。 “やちほこり” なんて言われるくらいです。



現代表2代目の鵜沢栄さん

奥様も一緒に植木屋さんのお仕事されているのですか？

真知子さん：「畑違いのところから鵜沢家に来て、当初は子育てで忙しかったし、バブルの時は、従業員10人ぐらいのお昼も用意し、片付けが終わったら家族の夕食も用意し…大変でしたので、ハウスでのポットの仕事を始めたのは、子育てが一段落してからです。でも、納品書は沢山書いているから樹木名はよく知っています(笑)。今はそれぞれの両親4人と、長女と次女が4か月違いで出産した孫が2人いるので、正直てんてこ舞い。今はポットどころじゃないですね(笑)」。植木屋さんの奥さんは、皆さんとても大忙し!

色々な種類が生産されている圃場を案内して頂きました。



ご家族の皆さん

柴犬のハチちゃん

根っこは、そんなに一番大事なのですか？

栄さん：「そう。根っこがしっかり出来ていれば、その後の成長も壮大になるし、現場に納めても枯れない。うちの木は、まめに移植しています。だから年がら年中、あっちに移したりこっちに移したり。動かさなければ成長は早いけれども、年輪を作っていると思って手間を掛けて作っています。普通は1年で作ろうと思っているものを、うちは2年かけて作っています。蹴っ飛ばしても崩れないような根っこを作っています」と誇らしに語ってくれました。

「今は二極化して生産には2タイプあります。大量生産で手早く育てて売れる場合は、手間が掛かってない分、安く売れる。それに対して、手間を掛ければ高くなる。でも枯れない木というブランドイメージが付加価値として付き、信用に繋がります。問屋さんは各用途で見極めて仕入れています」と説明してくれました。

息子さんが登場! 持っている道具入れや帽子がお洒落で、スマートな雰囲気。卒業されてすぐ実家で修業したんですか？

邦充さん：「まだ毎日が修業です。農大を出て修業に出ようと思っていたのですが、その頃、家業が忙しくてそのまま家に入りました。小さい頃から植木屋になるのは当たり前と思っていたので反発はなかったです。学生時は和の心を知ろうと茶道部にも入っていました」。…志が立派な3代目ですね。



3代目になる鵜沢邦充さん

経験して大変だったこととかありますか？

邦充さん：「何年か前に、雨が数日降り続いた後、ユンボで掘っていたら畑に水が溜まっていてユンボごと埋まってしまう、脱出できなくなったことがあります。ユンボを落としちゃうと始末が悪くて、それより大きいユンボで吊り上げるしかないんです。今となっては、それもいい経験でした。」

あとは、腰痛です。1年目は1年中腰痛でした。始めた頃は、体の使い方が分からなかったの、腰を痛めていました。だんだん木の持ち方が分かってきて、最近は腰痛までにはなりません、ふとした拍子にやっちゃうんですけど。素人の力持ちの人でも植木を持つのは至難の技。根っこのバランスで、ちょっとしたコツがあるようです。

3代目がいらっしゃって心強いですね。

栄さん：「そうですね(笑)、息子がいるから協会のブロック長を引き受けたり、協会の会議に出掛けることが出来るのです」と嬉しそうに話してくれました。

現代表、栄さんのモットーや志は？

栄さん：「第一にお客さんに喜んでもらいたいです。だから絶対枯れない木を作ろうと思っています。私はとにかく根っこをいじるのが趣味かな。『植木は根っこを買え』という言葉があるくらいですから。あとは荷造りだけは、綺麗にやろうと思っています。」

邦充さんに最後一言お願いします。

邦充さん：「えっと…お嫁さん募集かな(笑)」。

周り：「それ、大事ですね(笑)」。

邦充さん：「畑では見つからないですから(笑)」。

…八街植木さんを取材し、本当に木が好きで植木屋さんでした。ほっこりとした温かい気持ちになりました。



八街駅にある落花生の大きなモニュメント

東京ビッグサイト(東京江東区)で 「株グリーンサポート」伊東信昭氏が講演

資源循環EXPO

3月4日(木)、東京ビッグサイトで開催された第3回資源循環EXPOにおいて、当協会賛助会員の(株)グリーンサポート代表取締役伊東信昭氏が「バイオマスプラスチック製品・生分解性biopodの今」と題した講演を行い、講演は満員の聴衆で埋まりました。

グリーンサポートはバイオマスプラスチック(ポリ乳酸不織布)製品として、生分解性biopodの製造販売を手掛けて約20年が経過しました。生分解性biopodは平成20年の全国植樹祭(秋田県)で初採用されたことをきっかけに各地の山林種苗、緑化樹の栽培用に普及が進んでいます。

グリーンサポートでは特に山林種苗用biopodを生分解性コンテナと呼称していますが、平成28年、29年に生分解性コンテナで育苗したスギが農林水産大臣賞を連続受賞するなど、生分解性コンテナが山林種苗に適するとの評価が確立してきました。令和2年の生分解性コンテナの出荷量は年450万個を数えるに至っています。北海道ではこの度、生分解性コンテナの採用が全面的に認められるなど、今後更に山林種苗向けの採用拡大が期待されるとのことです。講演

伊東信昭 社長



東京ビッグサイトで講演



生分解性biopodはトマト、イチゴ、梨などの野菜、果樹用にも活用が進んでいるのに加え、昆布、カジメ、アマモなどの海藻類の増殖に試験投入が開始されるなど、

今後の用途拡大が注目されることです。

伊東氏は生分解性biopodに続く期待の商品としてポリ乳酸とレオンの短繊維集合体である新製品「ファイバーソイル」も紹介。ファイバーソイルはコンポスト処理が可能な培地で、植物工場の育苗で使用されている発泡ウレタンの置き換えなどをターゲットに据えているとのことでした。伊東氏の説明後は聴衆者から活発な質問がでるなど、講演は盛況裡に幕を閉じました。

日本列島植木植物園 ナショナルプランツ コレクション*

古川和生 古川庭樹園 (大阪府) ☎0721-93-2673

源平桃 ゲンペイモモ *Amygdalus persica* 'Genpei'

桃は古来より中国では、災いを除き、福を招くとされてきました。日本へは弥生時代に渡来したとされ、平安時代には3月3日の桃の節句が祝われ、桃の花が観賞されるようになり、現在の園芸品種も江戸時代に品種改良が行われ、作出されたものが多くあります。

1本の木に白、赤、厳密に言えばピンクも含めた三色の花を咲かせる花桃の八重咲き品種です。紅白の花が咲き乱れる様子を源平合戦に例えられ、この名が付いたと言われています。

その年の気候条件などにより枝の伸びが異なるため、白が多い年もあれば、赤が多い年もあり、毎年異なった咲き具合を楽しめます。



※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

学校紹介

未来の業界を担う若者たち

福岡県立福岡農業高等学校

教諭 白津 敬一



技能検定合格画像

1 学校の概要

福岡市に近接する太宰府市にある福岡県立福岡農業高等学校は創立142年の歴史と伝統を有する全国屈指の専門高校です。本校は農業に関する学科として都市園芸科、環境活用科、食品科学科、家庭に関する学科として生活デザイン科の4つの学科を有します。いずれの学科も安全・安心な食品の生産、それらを活用した商品の開発や地域連携活動など様々な分野で活躍しています。

平成26年4月から取り組んだ文部科学省からの指定

2 環境活用科の概要

環境活用科は、環境保全や自然生態系の保全に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、人と環境と社会の調和を図り身近な事業「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」事業(SPH)では、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成に向け様々な教育活動を展開してきました。



個人庭園管理

3 特色ある教育活動

(1) 使用する道具類の管理
本校の生徒のほとんどが非農家であること、鋸や挟などの樹木の管理に必要な道具類の取扱や管理はほとんど知識がない状況です。1年次には実習で使用するこれらの道具類を安全に正しく使用し、管理できるよう道具の構造や使用方法について一から学びます。

(2) 校内の樹木の管理

本校は西日本でも屈指の校地面積を誇ります。437000㎡余りの校地には多様な植栽があります。生徒は「総合実習」において剪定実習に臨みます。高いところでの高枝挟や剪定挟を使った作業は難しく実習の経験値が上がるごとに自在に動くことがで



3年生の刈り込み



検定練習風景



製図

としては理解できているものの現場で学んだ知識や技術が十分に発揮できないことを体験し、試行錯誤する姿が見られました。学校で繰り返し実習して学ぶことの大切さを実感していました。

このような資格取得を中核にしたキャリア教育を系統的に進めることで生徒は自信と行動力を身につけ、積極的に地域社会と関わり合いながら郷土を愛する心や公共心を育んでいきます。

4 まとめ

福岡県立西日本最大級の校地でのびのびと学習活動に取り組んでいます。ここでは様々な種類の農産物が生産されています。毎月2回程度開催される「農販会」は運営する生徒だけでなく地域住民の方も楽しめるイベントとなっています。

年間通して販売される「黄金たまご」のほか、事前予約で完売する「耕の米」、地元保育園の給食にも提供される「黄金パン」、ブドウや梨、温州ミカンも各種野菜のすべてに生徒が関わり、生徒自らが安全で安心できる農産物であることを消費者に堂々と伝えていきます。

「農業高校は農業や環境、食について様々なことが学べて面白い」を常に意識し、「学んで試して身につけて社会で役立つ」を合い言葉に本物を学ぶ農業高校として地域の期待に応える教育を推進していきます。



アブリコット



アブリコットダブル



イエロー



イエローセミダブル



イエローダークネス



イエローピコティダブル



いちごみるく



クリスマスローズ ニガー



ゴールドセミダブル



ピコティ



※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

特集 ステイホームでお花見を

株式会社 アスコット
若 林 芳 樹

今年は全国的に、例年になく桜の開花が早かったようですが、コロナ渦の影響でお花見もままならない状況でした。今年のお花見には間に合いませんが、ステイホームの呼びかけに応じて自宅でお花見としゃれこんではいかがでしょうか。

一般的にお花見の名所の桜はソメイヨシノやオオシマザクラ、ヤマザクラなどですが、これらはいずれも樹高が10～15mにもなるので一般家庭の庭で花いっぱい美しい姿を觀賞することは困難です。大きくなりすぎるので持て余してしまい、太枝や場合によっては幹を切り落とすことになって、無残な姿をさらすことになりかねません。

家庭でお花見を楽しむのに適した小型な桜は無いかと桜の図鑑を紐解くと、オカメやコヒガンザクラなどの小型の桜が出て来ます。これらはいずれか一方の親にマメザクラが関係した交雑種です。そのためあまり大きくならないようです。あまり大きくならないマメザクラを植えて自宅でお花見を楽しんでみませんか。

マメザクラ (*Cerasus incisa*) はフォッサマグナ要素の植物で、神奈川県西部、静岡県東部、山梨県南部の富士山や箱根エリアを中心に伊豆半島などに自生しています。樹高は3～5メートル程度で、小さいうちから花をつけるので、人間の背丈くらいでも花が楽しめるので、家庭の庭にはぴったりです。また、幹や枝があまり太くならないこともあるかとは思いますが、枝を切ってもあまり枯れ込まないようで、ある程度大きくなって邪魔になったら切り詰めることも可能です。また、地際から萌芽することも多く、萌芽枝を伸ばして株立ちの姿を楽しむこともできます。小さなうちから花をつける点や枝を切っても枯れ込まない特性から、鉢に植えて花を愛でることができるので、盆栽用樹としても知られています。

花が小さめで下向きに垂れて咲くことや、一つの蕾から咲く花が1～3花と少ないので、どこか寂しげと表現されることも多く、華やかさにやや欠けるところがありますが、野性味を楽しむには向いているのではないのでしょうか。最近流行りの雑木の庭にあしらうと春の景色が一段と華やぐこと請け合いです。

花について見てみると、自生種は花径2cm程度で色は白色が多く、淡紅色を帯びる個体も見られます。マメザクラの自生地の本場、御殿場農園のHPをのぞいてみると、15種ほどの品種が掲載されています。一重の色変わりや八重咲き、菊咲きなど変化に富んだ品種が見られます。樹種特性としては挿し木で容易に増やすことができることから、多くの自生個体の中から花の觀賞価値の高いものや花型の変ったものなどを選抜して、コレクションすることが容易なことが分かります。

最近よく見かける品種に‘湖上の舞’という品種があります。この品種は枝がジグザグに屈曲して伸び、独特の風情があります。あまり大き

くならず花つきが良いので、狭い庭にも植栽が可能で人気があるようです。また、色変わりではミドリザクラ(緑萼桜)があります。梅の青軸性の品種に‘緑萼’という品種がありますが、それと同じように花は純白で若い枝や葉柄、小花柄、萼が濁りの無い緑色(素心)の品種で、光が射すと周りをパッと明るく変えてくれます。ミドリザクラはよく実をつけるので、播種をしても面白い結果が得られます。自然結実の種子を播いてもある程度の割合で、濁りのまったくない緑色の個体が発芽してくるので選抜が容易です。また、セレクトからもれた苗も、マメザクラは比較的短い年数で花をつけることや樹体が小さいので場所をとらないことなどから、開花を楽しみに育てることもできるのではないのでしょうか。

私もだいぶ以前にミドリザクラを播いたことがあります。その中からちょっと変わった花型の個体を得られたので紹介します(写真参照)。御殿場農園のHPで紹介されている品種の‘富士菊桜’という品種によく似た八重咲きの個体です。開花すると雄しべが完全に弁化した花や一部残る花などが混在します。開花期はソメイヨシノよりやや遅く、花径は3～4cm内外で、一つの花の花弁数は50枚ほどで雌しべの数は10本ほどです。咲き始めはほとんど白色ですが後に淡紅色を帯びてきます。自分で言うのもなんですが面白い品種ではないのでしょうか。頃合いを見て桜の世界にデビューさせたいと思っています。



‘湖上の舞’ (枝がジグザグに伸びる)



ミドリザクラ (緑萼桜)



①実生から生まれた八重咲きの個体 (雄しべが完全に弁化した花)



②実生から生まれた八重咲きの個体 (雄しべが残っている花)



岡川原田邦彦 確実園園芸場（茨城県） ☎029-872-0051

クリスマスローズ（その1）

一般にクリスマスローズと呼ばれるヘレボラス類は約15種あり、その多くは栽培の難しい種類です。最近よく見られる春咲きクリスマスローズ（レンテンローズ）は栽培が比較的容易で、花色や花型がバラエティーに富んでいることから人気があり、育種も盛んにおこなわれています。

なお、本来のクリスマスローズはヘレボラス ニガーのことで、花色は白で、開花が早く12月のクリスマスの頃には開花するため名づけられました。春咲きクリスマスローズは名前の通り年が明けた2～3月に開花し、よほどのことがないと12月に開花することはありません。現在はこれらを区別せず、クリスマスローズと呼ぶことが多くなっています。

当園では40年ほど前に導入しています。茨城県では初だと思われます。ダブル咲きが出てきてから人気が高くなり現在に至っています。



ピコティダブル



ピンクスポットセミダブル



クリーム糸覆輪ダブル



氷の薔薇メルロー



ピコティダブル



イエローダブル



クリームスポットダブル



ネオンシェード

連載「東アジアの高山植物」

第2回 「矮性低木林」

東京農業大学名誉教授 中村 幸人



◆プロフィール 中村 幸人（なかむら ゆきと）
1952（昭和27）年3月生 東京農業大学名誉教授（博士 理学）専門：植生学、植物地理学、景観生態学
神奈川県鳥獣総合対策協議会委員、神奈川県公共事業評価審査会委員、国際植生学会群集命名規約委員会委員 他
横浜国立大学助手、作新学院大学教授を経て平成14年より東京農業大学教授

ハイマツ帯を抜けて見晴らしのよい尾根道に出ると、展望が開け、残雪の残る高山の景色に圧倒されますが、ふと足元を見ると、みどりのカーペットを敷きつめたように可憐な花が咲いているのに気づきます。高山植物を確信させるイワウメの花です（写真1）。イワウメは、背丈が1cmに満たない小ささでも、立派な常緑の樹木です。直接、地面に梅の花が咲いているさから、イワウメと名付けられました。



写真1. イワウメ 北岳

極低温という高山の厳しい環境に耐えて、地面にへばりつくイワウメのような植物を矮性低木といいます。矮性低木はラウンケアの生活形で地表植物に相当します。冬芽の位置が地上30cm以下にあり、寒帯や高山の環境に適応した生活形と言われます。ちなみに、冬芽の位置が30cm以上にある植物を地上植物といい、身近なアオキやケヤキ、シラカシなど、多くの木本植物が該当します。私たちは、地上植物が育つような環境の良いところで暮らしているということです。

矮性低木には常緑性と夏緑性があります。イワウメは常緑性で、同じような植物には、ツガザクラ、コメバツガザクラ、チシマツガザクラ、イワヒゲ、ガンコウラン、ミネズオウ、コケモモ、キバナシャクナゲなどがあります。この中でキバナシャクナゲは矮性低木なのかという疑問は残りますが、シャクナゲの仲間では最も小さく、開けた場所にもよく見られます（写真2）。



写真2. キバナシャクナゲ 北岳



写真3. クロマメノキとウラシマツツジ 北岳

夏緑性の代表種はクロマメノキとウラシマツツジです。北海道にはエゾマメヤナギという日本で最も小さなヤナギも見られます。クロマメノキとウラシマツツジの優占するウラシマツツジ・クロマメノキ群集という矮性低木群落が、常緑性の矮性低木群落に比較して、より乾燥した風衝地に見られます（写真3）。クロマメノキは最も美味しいブルーベリーで、体に似合わず大きな果実をつけます。秋季には真っ赤に紅葉したウラシマツツジが目立ち、高山帯を彩ります。

矮性低木には小形であるほか、葉も小さく、針葉状になる種も多く見られます。矮性低木の多くは、ツツジ科のような広葉樹ですが、葉が針葉状となり、葉の表面積を少なくして、蒸散量を抑える

ようにしています。しかも、葉が立体的になり、側面でも光合成ができるために効率が良いのです。ツガザクラという名前は、針葉樹のツガのように葉が細いことから付けられています（写真4）。

高山帯という極寒の地で、耐寒性を獲得し、短い夏の期間に1年分の光合成を行い、長い休眠に入るわけです。そのために、イワウメのように常緑性の葉を持つ種も多く、気温の上昇とともにすぐに光合成活動に入れる状態になっています。

中部山岳や北海道の高山帯でよく見かけるのは、コメバツガザクラ、ミネズオウ、ガンコウランなど、ツツジ科の優占する常緑矮性低木群落で、コメバツガザクラ・ミネズオウ群集と呼ばれています（写真5）。北海道や樺太ではチシマツガザクラも交じってきます。

これらの植物は北方系の植物で、周北極要素と呼ばれています。本州の中部山岳には氷期を通して南下し、高山に取り残されていった植物たちが分布の南限でぎりぎりの生活をしているのです。その意味ではライチョウと矮性低木は同士ですね。ライチョウにねぐらと餌となる果実を与え、かわりに種子散布をしてもらう共生関係にあります。

高山植物を調べていると、アラスカ、シベリアなど、周北極地方に辿り着きますが、北方の植物研究に功績のあったスウェーデン人のEric Hultén（1894-1981）を思い出します。彼は研究者であると同時に探検家で、狩人でした。アラスカを中心にシベリア地方を馬で移動し、「Flora of Alaska and Neighboring Territories」という植物本を出しています（写真6）。



ジムカデ 白馬大池



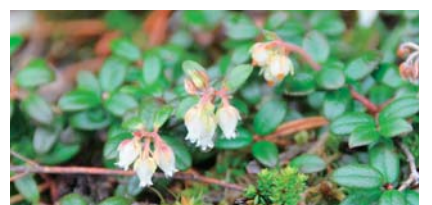
写真4. ツガザクラ 八方尾根



写真5. ミネズオウとガンコウラン 八方尾根



写真6. Eric Hultén



コケモモ 白馬大池

